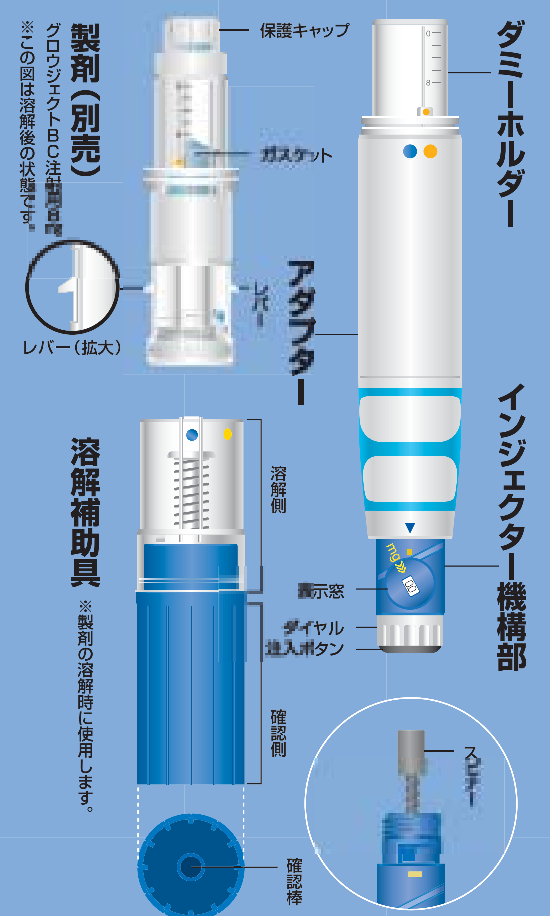
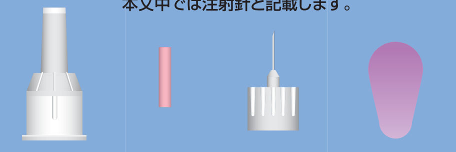


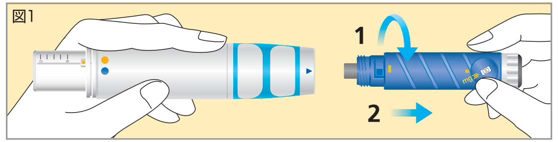
専用注射針（別売）
本文中では注射針と記載します。



BD ペンジェクター™3のご使用方法

● 製剤を装着していない状態で、インジェクター機構部のダイヤルを回さないでください。

❶ ペンケースからBDペンジェクター3を取り出します。
❷ ダミーホルダーの取り外し

図1


はじめにインジェクター機構部を矢印1の方向に回し、矢印2の方向に引いてアダプターから取り外します[図1]。

図2

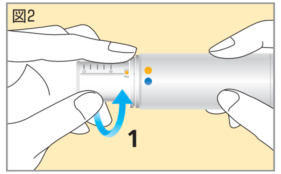
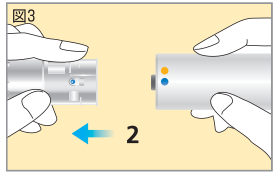



図3


次にダミーホルダーを矢印1の方向に回します[図2]。 止まるまで回してください。ダミーホルダーを矢印2の方向に引いて取り外します[図3]。 取り外したダミーホルダーは廃棄します。

❸ 溶解操作

室温に戻すため、注射するおよそ30分前に製剤を冷蔵庫から取り出してください。

注射針の取り付け
保護キャップを取り外し、製剤の先端を消毒用アルコール綿で拭きます[図4]。
保護キャップは後ほど使用しますので捨てないでください。
注射針の保護シールを外します。後ろから出ている針先に触れないよう、注意してください[図5]。
注射針を垂直に刺し（矢印1）、押しながら矢印2の方向に回して取り付けます。
注射針を正しく取り付けることにより、レバーが内側に閉じます[図6]。

【注意】
注射針の取り付けが不十分でレバーが閉じていない場合、製剤の溶解補助具への押しこみがしにくくなり製剤の下から薬液が漏れ出ることがあります。

製剤の溶解（溶解補助具を用いて行います。溶解補助具は必ず平らな場所に置いて操作してください）
針先を上に向けて製剤を垂直に持ちます。製剤の青色の●と溶解補助具の青色の●を合わせて、垂直に押しこみます[図7]。そのまま押し続けながら、黄色の●が合うまで、矢印3の方向に回した後、1分間お待ちください[図8]。製剤を矢印4の方向に回して、製剤を矢印5の方向に引き抜きます[図9]。

溶解完了の確認
溶解補助具を逆さまにし、ガスケットの位置を確認するため、製剤を確認棒に止まるまで押しこみます[図10]。ガスケットの先端が製剤の黄色の●の上に位置していることを確認してください[図11]。この操作によって製剤の確実な溶解が完了します。製剤を溶解補助具から引き抜いてください。

図4

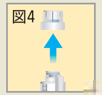



図5

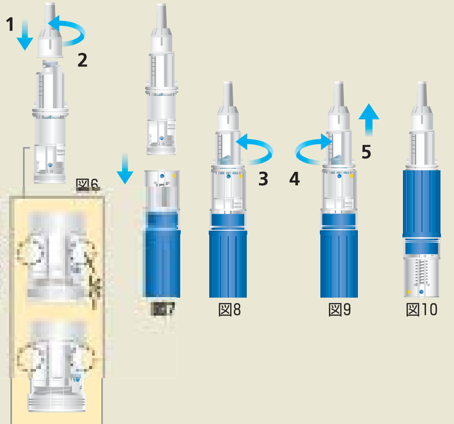


図6 図7 図8 図9 図10

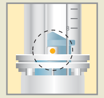



図11

❹ 製剤の取り付け

製剤を目の高さで垂直に持ち、アダプターの青色の●と製剤の青色の●を合わせるようにして、製剤を差しこみ（矢印1）、製剤の黄色の●とアダプターの黄色の●が合う位置に、製剤を矢印2の方向に「カチッ」という音がするまで回します。次にインジェクター機構部をアダプターの後方から差しこみ（矢印3）、矢印4の方向に回してしっかりと取り付けます[図12]。
アダプターの紺色の▼とインジェクター機構部の表示窓の隣にある、黄色の■の位置が合っていることを確認してください[図13]。

図12

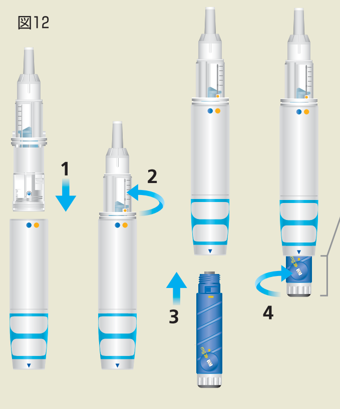
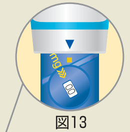
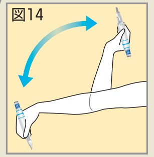




図13
図14


薬液の混和
BDペンジェクター3をしっかり保持し、[図14]のように針先を上下にゆっくり動かし、薬液を完全に混和させます。

❺ 空気抜き

製剤内の空気が先端に集まるように上部を指先で軽くたたきます[図15]。空気抜きの操作中は、必ず針先を上に向けておいてください。
※小さい空気の泡は注射には影響ありません。

図15

【ガイド】
- 一度外した針キャップは再び使用することはありません。針ケースは後で使用しますので、捨てないでください。また、不意の針刺しにご注意ください。
- 新しい製剤をセットしたとき空気抜きをしますが、2回目以降、製剤を使い切るまで、空気抜きの必要はありません。

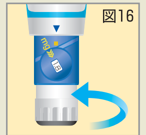
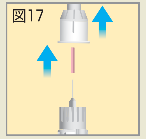


図16
図17


一方の手でインジェクター機構部を持って、他の手でダイヤルを矢印の方向に回して、空気抜きに必要な注射量「1.8」に設定します[図16]。
設定したい量を超えてダイヤルを回してしまったら、❻**注射量の設定**の【注意】に従って、設定し直してください。
注射針がしっかりと固定されていることを確認し、針ケースと針キャップを外します[図17]。
注入ボタンを最後まで押し切ります。一度の空気抜きで薬液が針先から出てこない場合は、以下の補足操作を、針先から薬液が見えるまで繰り返してください。
【補足操作】
- ダイヤルを回して「0.1」に設定します。
- 針先を上に向けて、注入ボタンをゆっくりと押します。

❻ 注射量の設定

※注射量は、0.1mg～2.7mgまで、0.1mg刻みで設定可能です。

一方の手でダイヤルを回している間は、もう一方の手でインジェクター機構部をしっかりとつかんでください。ダイヤルを矢印の方向に回して、医師に指示された一回あたりの注射量を設定します[図18]。

図18

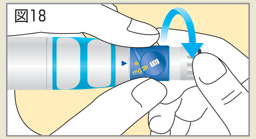
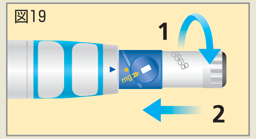
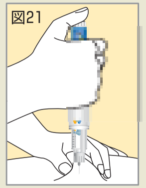



図19


【注意】
設定したい量を超えてダイヤルを回してしまったときは、ダイヤルを逆方向に回さないでください。そのままダイヤルを回し切ってください（矢印1）。その後注入ボタンを完全に押し切ると（矢印2）薬液が出ることなく「0.0」に戻ります。これで、投与量を再設定することができます。この通りに操作しないと、針先から薬液が出てしまいます[図19]。

❼ 注射の方法

注射する部位を消毒用アルコール綿で拭きます。注射部位は医師の指示に従ってください[図20]。
注射する部位を親指と人差し指で軽く寄せ、垂直に針を刺します[図21]。針を挿入したら注入ボタンを最後まで押し切ってください。注射部位から針を抜く前に、少なくとも5秒間保持してください。（ゆっくり五つ数えてください）注射後、消毒用アルコール綿で注射部位を軽く押さえます。

図20
図21


【ガイド】
- 針を抜いたとき、針先に少量の薬液がついている事がありますが、注射量には影響ありません。
- 注射後、針先からの液漏れが続いたときは、次回の注射時には針を皮膚内にもう少し長く保持しておくようにしてください。

【注意】
注射が完了した場合は、表示窓が「0.0」になっています。もし、製剤に十分な薬液が残っていなかった場合は、注入ボタンが完全に押し切れず、表示窓には不足分が表示されています。このような場合は、❽**注射が終わったら**に従って注射針を外し、❿**新しい製剤への交換**に従って新しい製剤を取り付け、再度不足分を注射してください。
製剤の薬液が空のとき、無理に注入ボタンを押したり、無理にダイヤルを「0.0」に戻さないでください。故障の原因となります。

❽ 注射が終わったら

[図22]に示すように、ペンケースの針ケースホルダーに針ケースをセットし、注射針を垂直に差しこみます。完全にはまるまで押しこんでください。矢印1の方向に回し、針ケースごと注射針を取り外します（矢印2）[図23]。
BDペンジェクター3の先端に保護キャップを取り付け、ペンケースに入れ、冷蔵庫に保管してください。

図22

【注意】
- 使用済みの注射針は、必ず適切な廃棄容器に入れる等、医師の指示に従って廃棄してください。
- 製剤を取り付けたBDペンジェクター3は冷蔵庫の凍結しない場所で保管してください。冷蔵庫で適切に保管されていない場合は、その製剤は使用しないでください。
- BDペンジェクター3に取り付けた製剤は、新しい製剤の交換まで、絶対に外さないでください。もし外れた場合は、❹**製剤の取り付け**に従って再度取り付けてください。
- 注射針に針ケースをかぶせる方法として、ペンケースの針ケースホルダーを用いた方法を推奨します。針刺しは重大な感染症を起こす危険性があります。

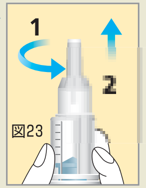


図23

❾ 2回目以降の注射

注射のおよそ30分前にBDペンジェクター3をペンケースごと冷蔵庫から取り出し、ケースのふたを開けて薬剤を室温に戻してください。
保護キャップを外し、製剤の先端部を消毒用アルコール綿で拭きます。
新しい注射針の保護シールを剥がして垂直に差し（矢印1）、矢印2の方向に回して取り付けます[図6]。
❻**注射量の設定**に従って注射量を設定し、針ケースと針キャップを外して、❼**注射の方法**に従って注射してください。
❽**注射が終わったら**に従ってBDペンジェクター3を冷蔵庫に保管してください。

【ガイド】
- 一度使用した針は、絶対に使用しないでください。
- 新しい製剤をセットしたときは空気抜きをしますが、2回目以降、製剤を使い切るまで、空気抜きの必要はありません。

⑩ 新しい製剤への交換

❷ダミーホルダーの取り外しに従って、インジェクター機構部を取り外します。取り外したインジェクター機構部の注入ボタンが飛び出している時には、注入ボタンを最後まで押し切ってください。
インジェクター機構部のスピナーが伸びていますので、指等で押しこみ、リセット位置に戻します[図24]。
❷ダミーホルダーの取り外しに従って、アダプターから使用済みの製剤を取り外します。
❸溶解操作から**❽注射が終わったら**に進んでください。

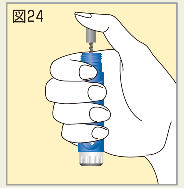
図24


図25

リセット前

図26

リセット後

BDペンジェクター3の交換

BDペンジェクター3の耐用期間は、使用を始めてから2年間です。ご使用を開始される時に、同梱されている使用開始日記入シールに使用開始日・交換予定日を記入し、カルテ、ペンケース等にお貼りください。
交換予定日が近づいたら、医師にご相談の上、新しいBDペンジェクター3と交換してください。

使用開始年月日、交換予定日を確認するためにカルテやペンケース等にお貼り下さい。
（耐用期間は2年間です。）

BD ペンジェクター™ 3 製造番号　00000000
ペン使用開始日
年　月　日
ペン交換予定日
年　月　日

BD ペンジェクター™ 3 製造番号　00000000
ペン使用開始日
年　月　日
ペン交換予定日
年　月　日

こんなトラブルがあった時は･･･

薬剤が完全に溶けない。
その製剤は使用しないでください。

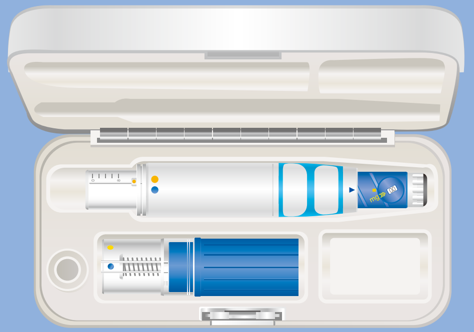
製剤を溶解補助具に取り付けるとき、押しこみにくい。
注射針が正しく取り付けられているか確認してください。

針先を上に向けないで、空気抜きをしてしまった。
空気が完全に抜けていません。針先を上に向けて再度空気抜きを行ってください。

皮膚から針を抜いたとき、針先から薬液がポタポタと漏れる。
注入時間が短すぎる可能性があります。次回の注射では、注入ボタンを最後まで押し切ってから、少なくとも5秒間そのまま保持してください。

保管とお手入れ

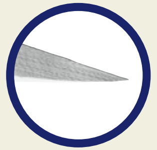
- 溶解していない製剤は包装箱に入れたまま、溶解後はBDペンジェクター3に取り付けたままペンケースごと、冷蔵庫の凍結しないところに保存してください。
- 冷凍庫に入れないでください。
- 一度溶解した薬液は42日以内に使用してください。（もし薬液が残ったままになっていても、42日を過ぎたものは使用しないでください）
- BDペンジェクター3が汚れた場合は水で湿らせた布で拭いてください。洗剤や消毒液を使用したりしないでください。また、水洗いはしないでください。
- 注射針を取り付けたまま保管しないでください。
- 製剤を取り付けていないBDペンジェクター3は室温で保管してください。湿気やほこりの多いところを避け、高温や凍結した場所、直射日光のあたる場所には長時間放置しないでください。
- BDペンジェクター3の内部に薬剤、ほこり、食べ物、飲み物等が入り汚れると、注入ボタンが押しにくくなることがあります。



注射針

本品には、JIS T3226-2で規定されるA型専用注射針が取り付けられます。本品の性能・品質は、日本ベクトン・ディッキンソンが販売しているA型専用注射針であるBDマイクロファインプラスで確認されています。

安全で痛みの少ない注射を行っていただくために、注射のたびに新しい注射針をご使用ください。


未使用の注射針

使用後の注射針

注射針を再利用した場合の危険性
- 針先は1回の使用で大きなダメージを負うことがあります。
- 針先の鋭さが無くなったり、曲がったり、折れたりすることがあります。また。体内に残る危険性があります。
- 針表面の潤滑剤が無くなっているので、より痛みを感じることがあります。

グロウジェクトお客様相談窓口
フリーコール **0120-999-393**
携帯電話からの通話もできます。

病気やお薬に関するご質問は、
医師や薬剤師の先生方にご相談ください。

医療機器認証番号:219AFBZX00104000

ご使用の前にお読みください。

安全にご使用いただくための注意事項

1 BDペンジェクター3は、高精度の自己注射用医療機器です。この取扱説明書の内容をよく理解し、取り扱いには十分注意してください。

2 空気抜きは必ず針先を上に向けて行ってください。空気抜きが不十分な場合は、正しい量を投与できない可能性があります。

3 注射するときは、医師に指示された注射部位に注射してください。針を挿入したら、注入ボタンを最後まで押し、少なくとも5秒間そのまま保持してから、針を抜いてください。注射後、針先からの液漏れが続いたときは、次回の注射から針を皮膚内にもう少し長く保持してください。

4 BDペンジェクター3は他の人と共有しないでください。

5 BDペンジェクター3は、目の不自由な方や弱視の方の使用は推奨しておりません。

6 注射針は滅菌済みです。針の汚染を避ける為、保護シールを外した後は、長く放置したり、針本体を触ったりしないでください。

7 注射部位に刺した状態で、投与量の設定や修正は行わないでください。不適当な量が投与される恐れがあります。

8 注射をする際は、注射針の取り外しに気を付けてください。針刺しは、重大な感染症を起こす危険性があります。

9 BDペンジェクター3の破損または異常にお気づきの時は、ただちに使用を中止し、医師とご相談のうえ、新しいBDペンジェクター3と交換してください。

販　売　元：ＪＣＲファーマ株式会社
〒659-0021 兵庫県芦屋市春日町3-19

製造販売元：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地

BD ペンジェクター™ 3

A型専用注射針用

投与量単位:0.1mg

取扱説明書

BDペンジェクター3は、グロウジェクトBC注射用8mg及び専用注射針を取り付けて使用する、成長ホルモン製剤専用ペン型注入器です。

ご使用に際しては医師の指示に従い、必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みになってから、使用してください。

内容物

品目	数量
BDペンジェクター3	1本
溶解補助具	1個
専用ペンケース	1個
添付文書	1部
取扱説明書（本書）	1冊
使用開始日記入シール	1枚

内容物に不足がある場合は医師にご相談ください。

第6版